

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成25年度実績評価）

事業名	障害児保育の充実						掲載ページ		
							175		
コスト	事業費	平成25年度執行額		平成26年度予算額		政策分野	特別な支援を要する子どもや家庭への支援	担当局	子ども家庭局
		187,636	千円	201,500	千円	施策名	障害のある子どもへの支援	担当課	保育課

【Plan】計画 →				【Do】実施 → 【Check】評価			
目的	何を(誰を)どのような状態にしたのか	通常保育での受け入れに加え、延長保育、一時保育を含めて統合保育の可能な障害のある子どもの受け入れを行います。また障害のある子どもの福祉の向上と、保護者の就労を支援するため、関係機関の協力のもと、統合保育の可能な重度の障害のある子どもを直営保育所で受け入れます。					
活動計画	統合保育の可能な障害児を通常保育だけでなく、延長保育、一時保育での受け入れを行います。また、統合保育の可能な重度の障害児を直営保育所で受け入れます。						
活動実績	活動結果は下記のとおりです。						
活動指標	指標 (数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段: 指標名 下段: 指標の考え方)	前年度実績	目標	実績(達成率)	→	【活動の状況】	
活動指標	通常保育における障害児の入所可能施設数	158 施設 (100%)	160 施設	160 施設	→	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
	障害児の受け入れを全保育所で行っていることから通常保育における障害児の入所可能施設数を活動指標としました。 (最終目標と最終年度)						
活動指標	特別保育事業における障害児の入所可能施設数	(延長保育) 145 施設 (一時保育) 63	(延長保育) 148 施設 (一時保育) 67	(延長保育) 148 施設 (一時保育) 67	→	順調 やや遅れ 遅れ	
	保護者の仕事と子育ての両立支援を図るため、通常保育のみならず特別保育事業においても、一時、延長保育の実施保育所で障害児の受け入れを行っていることから、特別保育事業における障害児の入所可能施設数を指標としました。 (最終目標と最終年度) 延長保育153施設 一時保育64施設						

【Check】評価(分析)			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	障害児の受け入れが、全認可保育所(160施設)において可能な状況の中で、平成26年3月1日において、109施設で322名の障害児を受け入れました。直営保育所では重度障害児18名を受け入れました。 障害の有無にかかわらず、一緒に保育し、ともに育ち生活する中で、相互の健全な育成を図ることができたことから順調としました。保育所での保育が可能な障害のある子どもを積極的に受け入れていること、なおかつ就労を希望する保護者の増加が見込まれることから、障害児保育のニーズは高まると予想され、有効性は、高いと思われます。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	現在は障害児数に応じた職員配置を、常勤やパートで行っており効率性は高いと考えます。これ以上のコスト削減は困難と考えます。

【Action】 目的実現のために平成26年度以降に実施すること
<p>本事業は、児童の福祉向上に資するところも大きく、保護者の就労支援、子育て支援を図る上で施策に対する有効性も高く、今後も関係機関との連携、研修、会議等内容を工夫しながら、保育の質の向上を図り、着実に取り組むことが適当だと考えます。今後も継続して事業を実施します。</p>

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成25年度実績評価）

事業名	保育所・幼稚園等から小学校・特別支援学校への連絡体制・情報の共有機能の強化						掲載ページ		
							175		
コスト	事業費	平成25年度執行額		平成26年度予算額		政策分野	特別な支援を要する子どもや家庭への支援	担当局	子ども家庭局
		0	千円	0	千円	施策名	障害のある子どもへの支援	担当課	保育課 子ども家庭政策課

【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を(誰を)どのような状態にしたのか	保育所・幼稚園等と小学校・特別支援学校が、特別な支援が必要な児童についてのケース会議を持ち、就学に向けた入学児童の一人ひとりの引継ぎ資料等を作成するなど、入学時の連絡体制・情報共有機能を強化します。			
活動計画	就学に向けて児童一人ひとりの連絡体制・情報共有機能を強化します。		活動実績	活動結果は下記のとおりです。	
活動指標	指標 (数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段: 指標名 下段: 指標の考え方)	前年度実績	目標	実績 (達成率)	→ 【活動の状況】
	保育所児童保育要録・幼稚園幼児指導要録の送付施設数	259 (99.2) %	263 施設	262 施設 99.6 %	大変順調
	認可保育所では保育所保育児童要録、幼稚園では幼稚園幼児指導要録を就学先の小学校・特別支援学校へ送付し、児童一人ひとりについて、情報共有を図っていることから、要録の送付施設数を活動指標としました。 (最終目標と最終年度)				活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	小学校・特別支援学校との連携体制の強化	-	-	-	順調 やや遅れ 遅れ
	各学校における連絡会等の内容や開催時期等の差がありますが、全就学先で実施が可能となるように、教育委員会と連携していきます。 (最終目標と最終年度)				順調

【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	【活動の状況】 を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。
	「経済性」 「効率性」 の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。 北九州市内の認可保育所においては、3月に保育所児童保育要録をまた、幼稚園においては幼稚園幼児指導要録を送付し、小学校・特別支援学校へ入学する児童の一人ひとりについて、情報の共有を図ったことから順調としました。就学前教育において、入学の連絡体制、情報共有機能を強化するために、有効性は高いと考えています。 現行の組織体制の中で、それぞれの連携強化をもって対応しており、特段の予算はかけていないため、経済性・効率性は高いと考えます。

【Action】 目的実現のために平成26年度以降に実施すること

障害のある子どもを含めたすべての子どもの生活と発達を理解するうえで、個別の情報伝達は大変重要です。保育所児童保育要録及び幼稚園幼児指導要録の送付やさらに各校での連絡会の実施等、入学時の連絡体制・情報共有機能の強化は必要と考えています。今年度も保育所児童保育要録及び幼稚園幼児指導要録を小学校・特別支援学校に送付するなど連携を図ります。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成25年度実績評価）

事業名	一時保育事業						掲載ページ		
							176		
コスト	事業費	平成25年度執行額		平成26年度予算額		政策分野	特別な支援を要する子どもや家庭への支援	担当局	子ども家庭局
		46,862	千円	54,679	千円	施策名	障害のある子どもへの支援	担当課	保育課

【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を(誰を)どのような状態にしたのか	保護者のパート就労や冠婚葬祭、及び育児リフレッシュ等の理由により、一時的に家庭での保育が困難となる児童を保育所において保育します。今後は、実施施設数を増やします。				
活動計画	引き続き一時保育実施施設を増やし、子育て家庭等の支援を行います。		活動実績	活動結果は下記のとおりです。		
	指標 (数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段: 指標名 下段: 指標の考え方)	前年度実績	目標	実績 (達成率)	→	【活動の状況】
	一時保育事業を実施する保育所	63 施設	67 施設	67 施設	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	実施保育所数を増やすことで、保護者の就労等の理由により、一時的に家庭での保育が困難となる児童を保育することができるかと考え、活動指標としました。 (最終目標と最終年度) 64施設、平成26年度			100.0 %		
	(最終目標と最終年度)				順調 やや遅れ 遅れ	順調

【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	平成25年度は4施設で新規開設を行い、全67施設において年間延べ23,908人の児童が利用したことから順調としました。一時的な就労等多様化する就労形態への対応や、専業主婦等の育児リフレッシュへの対応等について有効です。
	【経済性】 【効率性】 の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	補助金は利用児童数に応じた額となっており、限られた補助の中で人員を配置し実施するなど、合理的に事業を行っています。

【Action】 目的実現のために平成26年度以降に実施すること

一時保育を幅広く展開していくことで、待機児童の解消や子育て支援家庭への支援にも繋がることから、今後も一時保育の実施施設の増加を図ります。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成25年度実績評価）

事業名	障害児通園施設の機能強化						掲載ページ		
							176		
コスト	事業費	平成25年度執行額		平成26年度予算額		政策分野	特別な支援を要する子どもや家庭への支援	担当局	保健福祉局
		2,824	千円	2,916	千円	施策名	障害のある子どもへの支援	担当課	障害福祉課

【Plan】計画 →				【Do】実施 → 【Check】評価			
目的	何を（誰を）どのような状態にしたのか	障害児通園施設の専門的療育機能を強化するとともに、専門機関としての地域の保育所等への支援を強化します。 また、保護者の就労支援やレスパイトについても配慮した対応について検討します。					
活動計画	保育所等へ巡回相談事業を行います。			活動実績	活動実績は下記のとおりです。		
活動指標	指標 （数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）		前年度実績	目標	実績 （達成率）	→	【活動の状況】
	保育所等への支援件数		381 件	-	203 件		活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	専門的機能を活かした取組みであり、地域の保育所等に対する支援の度合いをはかる目安になると考え、掲げました。 （最終目標と最終年度）						
	保育所等訪問支援事業の実施件数		未実施	増加	183 人		順調 やや遅れ 遅れ
保育所等訪問支援は、障害児への支援に加え保育所等で障害児を担当する職員に対して障害児への関り方の指導などを行うもので、専門性の向上へつながらることから活動指標として掲げました。 （最終目標と最終年度）							

【Check】評価（分析）			
分析及び課題の整理	【活動の状況】 を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	保育所などへの巡回相談は減少しました。理由としては、児童福祉法の法定サービスである保育所等訪問支援事業に利用者が移行していることが考えられます。（H25年度：183件） 日中一時支援事業（放課後対策）は法定サービスである放課後等デイサービスへ移行するため縮小し、放課後等デイサービス事業所が同様の支援を行っていきます。
	「経済性」 「効率性」 の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	巡回相談は指定管理者に指定管理しており、直営で行うことに比べ低コストで実施しています。また、保育所等訪問支援事業は法律で単価が定められており、経済性・効率性は向上できません。

【Action】 目的実現のために平成26年度以降に実施すること
保育所への巡回については、法定サービスである保育所等訪問支援事業への移行が考えられます。今後は、保育所等訪問支援事業が順調に行われているか注視していく必要があります。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成25年度実績評価）

事業名	障害児入所施設の機能強化						掲載ページ		
							176		
コスト	事業費	平成25年度執行額		平成26年度予算額		政策分野	特別な支援を要する子どもや家庭への支援	担当局	保健福祉局
		37,236	千円	37,949	千円	施策名	障害のある子どもへの支援	担当課	障害福祉課

【Plan】計画 →				【Do】実施 → 【Check】評価				
目的	何を（誰を）どのような状態にしたのか	障害児施設の専門的・技術的機能を活かし、地域の障害のある子どもへの相談支援機能強化を図ります。						
活動計画	障害児入所施設において障害のある子どもへの相談支援を強化します。						活動実績	活動実績は下記のとおりです。
活動指標	指標 （数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）		前年度実績	目標	実績（達成率）	→	【活動の状況】	
	外来療育相談件数		799 件	-	858 件	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
	在宅の障害児(者)及び家族等に対し、外来の方法により、各種の相談・指導を実施します。相談件数が障害者の利便向上の判断基準となることから、活動指標として掲げました。 （最終目標と最終年度）						順調	やや遅れ
	（最終目標と最終年度）							

【Check】評価（分析）			
分析及び課題の整理	【活動の状況】 を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	今年度も障害児施設の特徴を活かした様々な障害児に関する相談を受け、順調に外来相談が実施されています。
	「経済性」「効率性」 の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	専門スタッフを有する団体に委託することで、より低いコストで実施することができました。

【Action】 目的実現のために平成26年度以降に実施すること
引き続き、障害児施設において、外来相談事業を実施していきます。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成25年度実績評価）

事業名	特別支援教育相談センターにおける相談事業						掲載ページ		
							176		
コスト	事業費	平成25年度執行額		平成26年度予算額		政策分野	特別な支援を要する子どもや家庭への支援	担当局	教育委員会
		27,361	千円	33,705	千円	施策名	障害のある子どもへの支援	担当課	特別支援教育課

【Plan】計画 →				【Do】実施 → 【Check】評価			
目的	何を(誰を)どのような状態にしたいのか	特別支援教育相談センターが専門性のある相談機能を備えている状態を目指します。		活動実績	巡回相談や教育相談では、事例の実態から必要に応じて専門相談員を同伴する、専門家チームを派遣する、学校におけるケース会議に参加するなど他機関と連携して相談を進めるなどして、主訴の改善が困難な事例や障害に起因する二次障害が顕著な事例等に対応しました。		
活動計画	相談事例に合わせて専門相談員(臨床心理士)を同伴したり、複数の相談員で対応したりして多面的に実態把握を行い、より専門的な相談支援を行う等の学校指導・支援を強化します。また、改善が難しい相談事例に対しては、集中して複数回の相談支援を行います。						
活動指標	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の考え方)		前年度実績	目標	実績(達成率)	→	【活動の状況】
	巡回相談(専門相談員が行った相談回数)		68 回	75 回	223 回	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	巡回相談に申し込みのあった事例の実態に合わせて専門相談員を同伴し、多面的に実態把握を行い、専門性に裏付けられたアセスメントができるようにします。このため、当該指標を設定しました。 (最終目標と最終年度)				297.3 %		
	巡回相談・教育相談(専門家チームが学校を訪問した実数)		7 校	7 校	7 校	大変順調	順調 やや遅れ 遅れ
巡回相談や教育相談において、主訴の改善が困難な事例や障害に起因する二次障害が顕著な事例の中でも、医療スタッフの専門的なアセスメントが必要な事例は専門家チームを派遣し、効果的な相談を行います。このため、当該指標を設定しました。 (最終目標と最終年度)		100.0 %					

【Check】評価(分析)			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	<p>就学相談は、自閉症・情緒障害特別支援学級への申し込み数の増加に対応するために、医師の診察回数を増やしました。通級相談の申し込み数の増加には、相談日を増やすことで対応しました。システムを改善したことで就学相談や通級相談の増加した申し込みへの対応がスムーズにできました。</p> <p>また、専門相談員や専門家チームを活用することで、主訴の改善が困難な事例や障害に起因する二次障害が顕著な事例の相談においても専門的なアセスメントを助言することができ、保護者・学校・園にとって手厚い支援ができています。</p> <p>以上のことから、「大変順調」と判断しました。</p>
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	各相談業務とも相談件数及び、主訴の改善が困難な事例や障害に起因する二次障害が顕著な事例が増加しています。費用対効果は高いと言えます。

【Action】 目的実現のために平成26年度以降に実施すること
<p>特別支援学校のセンター的機能との連携を密にして効果的な相談支援の在り方を具体化します。</p> <p>早期支援コーディネーターや臨床心理士、言語聴覚士など専門家を配置することで相談内容の複雑化・多様化にも対応できるようにします。</p>